

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農村整備課長 中藤 直孝	電話番号	0852-22-5176
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	農業農村整備事業管理		
目的	(1) 対象	農家、市町村、土地改良区	
	(2) 意図	収益性の高い売れる農作物の栽培を可能とする農業基盤の確保等のため、農業農村整備事業を計画的かつ効率的に進める。	
事業概要	農業農村整備事業を計画的かつ効率的に進めるため、農家・市町村等の要望を踏まえ、適切な事業計画を策定する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	事業計画策定地区数（地区）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	次年度の事業着手のために事業計画を策定する地区数	目標値	7.00	4.00	3.00	
			達成率		100.00	100.00	233.40		%
指標名	式・定義	事業計画策定地区数（地区）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			達成率	0.00	0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	22,712	43,300
うち一般財源(千円)	11,356	12,275

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・年次計画により新規事業着手地区の事業計画を策定しているが、平成26年度については地元要望に応えるため、一部前倒して事業計画を策定し事業着手を行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成26年度（平成27年度新規事業着手地区）については、3地区を目標としていたが、地元からの要望等に基づき、7地区の新規事業着手を行った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・新規事業着手地区については、計画的かつ効率的に進めてきているが、平成27年度の国費が要望に対して不足したことにより、事業の進捗に影響が出ている。
 ・農家や市町村等の地元要望は依然として多いが、現在の予算状況が続けば、新規着手地区の着工時期や継続地区の完了時期に影響が生じ、地域の要望に応えられない状況が発生する恐れがある。

②困っている状況が発生している「原因」

・島根県の農業農村整備事業予算は、国の予算が平成22年度に大幅に削減されていたが、平成25年度に増加し、その後回復傾向ではあるものの、平成27年度当初予算においては、県への国費の割当が大幅に削減されたことにより、要望に対する事業の進捗が図れない状況となっている。

③原因を解消するための「課題」

・国庫補助事業等の必要な予算の確保。
 ・地域の要望に対応した計画的かつ効率的な事業の実施。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国に対して必要な予算を長期にわたり当初予算で確保するよう求めていく。
 ・「しまね農業農村整備指針」を踏まえつつ、事業管理計画に基づき、次年度以降の事業実施計画シミュレーションを行い、予算のきめ細やかな調整・執行に努める。
 ・地元の要望に対応し、計画的に事業を実施するため、県単独事業の創設や拡充等を行うことにより進捗に影響が出ないよう補完をしていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）